

30年4月 リニューアルオープン!

# 国立都営「東京障害者職業能力開発校」 新校舎を開設します!

東京障害者職業能力開発校は、障害者がそれぞれの適性に応じた知識や技能を習得することで、職業的自立を図ることを目的として、国によって設置され、東京都が運営を受託し、東京都の障害者職業訓練の拠点として障害者の職業能力開発に取り組んでいます。

本年4月、校舎の老朽化に伴う改築を終えた東京障害者職業能力開発校は、以下のとおり新校舎を開設いたしますので、お知らせします。

また、校舎の改築にあわせて訓練科目を見直し、精神障害者等の受け入れ強化、求人ニーズが多い分野の科目の新設等をはかり、新たに12科目にて訓練を開始します。

## 【1】新校舎での業務開始日

平成30年4月2日(月)

## 【2】新校舎の概要

- 本館：延べ5,984(㎡)、2階建て、鉄筋コンクリート造
- 寮棟：延べ835(㎡)、1階建て、鉄筋コンクリート造
- ホール：延べ365(㎡)、1階建て、鉄骨造
- 敷地面積：35,795(㎡)(既存施設含む)

## 【3】東京障害者職業能力開発校の特徴

裏面をご参照下さい。

## 【4】落成記念式について

平成30年4月18日(水) 10:30～(予定)  
詳細については、別途ご案内させていただきます。

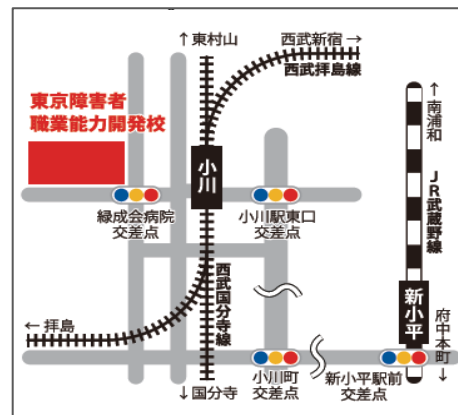
## 【所在地】

〒187-0035 小平市小川西町2-34-1

最寄駅：西武拝島線または西武国分寺線小川駅 徒歩5分

JR武蔵野線 新小平駅 徒歩約20分

電話：042-341-1411



【問い合わせ先】産業労働局雇用就業部能力開発課 小野、新保

電話03-5320-4715 内線37-810

## 【1】多様な訓練の実施（12科目、年間定員260名）

- 校舎の改築にあわせて科目を見直し、事務分野だけではなく、ものづくりやサービス分野の科目を新設
- 従来まで身体障害者を対象としていた訓練科目のカリキュラムを見直し、精神障害者等の受け入れを拡大
- 専門的な技能を習得する訓練だけではなく、生徒の能力や個性に合わせて社会性を高める訓練を充実

### 訓練科目

※青字は新規科目

◆対象：身体障害者・精神障害者・発達障害者

① 3月コース：就業支援科

② 6月コース：調理・清掃サービス科、オフィスワーク科、  
職域開発科（精神障害者・発達障害者の専門コース）

③ 1年コース：ものづくり技術科、建築CAD科、製パン科、ビジネス総合事務科、  
ビジネスアプリ開発科、グラフィックDTP科、OA実務科（重度視覚障害者）  
（「就業支援科」及び「職域開発科」は、訓練時間の柔軟な設定や、少人数クラスによる指導体制の充実等、  
特に精神障害者や発達障害者に配慮した訓練科目）

◆対象：知的障害者

① 1年コース：実務作業科

## 【2】新校舎の特徴

- 廊下を回遊型に配置してコンパクトな動線を確保
- 精神障害者等が落ち着けるように、実習室ごとにリフレッシュルーム（個室）を設置
- 喫茶や清掃の実践訓練を行うための模擬店舗実習室を設置
- 身体障害者で通校が困難な方向けに、寮を設置（全室個室、定員24名）



▲模擬店舗実習室（イメージ）

### ※新規科目について

#### □就業支援科（3カ月）

- ：就業に必要な社会生活に関するスキルを高め、企業で働く準備を整える
- ・ 基本的な調理・清掃や事務作業を行い、職業適性を見出す科目
  - ・ さらに専門性を高めて就業を目指す場合は、調理・清掃サービス科、オフィスワーク科に連続入校が可能



▲就業支援科（イメージ）

#### □調理・清掃サービス科（6カ月）

- ：調理分野や清掃分野に関連したサービス業への就職を目指す
- ・ 調理や清掃スタッフに必要な衛生管理や機器取扱いを学ぶ科目
  - ・ チームで仕事をする実際の就職先に対応するために、グループ作業を重視した訓練



▲調理・清掃サービス科（イメージ）

#### □ものづくり技術科（1年）

- ：技術スタッフとして、ものづくりを中心とした企業への就職を目指す
- ・ 身の回りにある工業製品を作るために必要な基本の知識を幅広く学ぶ科目
  - ・ 図面の読み書きから、機械による加工、電子部品の組立て等の実習を中心とした訓練

#### □ビジネス総合事務科（1年）

- ：一般企業の事務部門・経理部門への就職を目指す
- ・ オフィスで使われる幅広いソフトを使い、文書・資料作成や経理業務の基礎から応用まで学ぶ科目
  - ・ 簿記検定、電卓検定等の資格取得も目指し、パソコンの構成やネットワークの配線等についても学ぶ